

いつ何処で

(令6.7月)



作: 宣光

比白さん
お久しぶりです。
宣光です。
今僕の好きな
歌手の曲を
BGMに聴き
ながら、
この新聞を
書いている
所です。
僕はいつも
はオルゴールの
CDをBGM
に聴きながら
新聞作り
していますか
時に可笑って
気分を高め
たい時は
マニッして
好きな歌手

比白さん
長い間また
お待ちせして
すみません
でした。
これから
出来るだけ
長くこの
「光新聞」を
続けて行き
たいので
もしかして
しばらく
発行出来て
いない時は
すみません。
先に伝え
ときます。
もしその時は
何か色んな

の曲を
聴きなが
ら、作っ
ています。
それでは
始めます。
「光新聞」
第128号。

比白さん
聞きます。
今までの
常識な
ガラ。と変わ
るかもしねま
せん。
またもし明日
この世か

みんなが
期待している
ような記事
を考えて
書いている
と楽しみに
待っていて
下さい。
みんなの声
に合えられ
るように
僕も自分で
自分に
プレッシャーを
かけながら
ほどほどに
頑張ります。

比白さん
いたらどう
言うだろう
とです。
ある時から
客観的に
僕は見るよ
うになりました。
いつからだ
う。

終あるかも
しれません。
いつ何処で
何か起きても
不思議では
無いと言っ
事です。
ふとそんな
事をいつから
か思っよう
になりました。
この世界は
何もかも
平等に出来て
いるのかまた
先にあの世に
行った人たちが
今の僕らの
生活を見て
いたらどう
言うだろう
とです。

比白さん
どうも
ありがと
うございました。

今僕がマニ
でみんなに
伝えたい事
は何だろう。
この記事を
読んだみんな
の心に任せま
す。
どうも
ありがと
うございました。